史跡慈恩寺旧境内総合広報誌

慈恩寺 Times

第５１号

【発　行】
寒河江市教育委員会　生涯学習課
【発行日】
令和６年11月20日（水）
【問合せ・ご意見等】
寒河江市教育委員会
生涯学習課歴史文化・慈恩寺振興係
TEL:0237-86-8231
E-mail :shogaku@city.sagae.yamagata.jp

慈恩寺本堂保存修理工事が完了しました！

国指定重要文化財「本山慈恩寺本堂」の保存修理工事が無事に終わり、茅葺屋根等を新しくした本堂が姿を現しました。

令和４年10月から始まった今回の保存修理工事。屋根の骨組みが見えるまで茅の全層を外すのはなんと70年ぶりということで、約２年の歳月をかけて行われました。今号では修理工事の様子を振り返ります。

足場が組まれ、工事スタート

【令和４年10月～12月】
大掛かりな工事となるため、まずは建物全体を囲むように足場が組まれました。その後、全体がシートで覆われ、外観を見ることができなくなりました。

茅の取り外し作業

【令和５年２月～３月】
本堂屋根の茅の取り外し作業を行いました。骨組みがあらわになり、とても複雑な造りであることから職人の技術の高さがうかがえます。茅の厚さが１メートルを超える所もあり取り外す作業も一苦労です。

部材の破損状況確認作業

【令和５年４月～６月】
部材の傷みや破損状況を確認しながら修理が進められました。これまでの部分修理で本来の厚み以上に茅が葺かれたことによる重みで丸太が破損していたり、一部の部材が屋根裏に隠れていた小動物によってかじられていたことがわかったりと屋根の内情が見えてきました。

屋根の下地調整作業

【令和５年８月～11月】
長年の茅の重みで四隅が下がり、軒通りが乱れていたため、軒の四隅に桔木（はねぎ）を追加しました。その後、篠竹の取り付けや緩んでいた縄の締め直しなど屋根全体の調整を行いました。

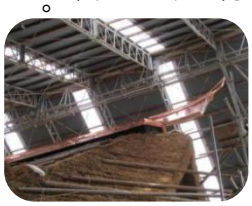
軒付・平葺作業

【令和５年12月～６年７月】
軒先の軒付積作業と軒から最上部にかけて茅を重ねる平葺作業が行われました。軒の四隅から茅を積み重ねる作業は、職人の方でも何度もやり直すほど難しいそうです。

箱棟銅板葺作業

【令和６年３月～８月】

箱棟の補修と銅板葺作業を行いました。その後、箱棟周辺の品軒付（しなのきづけ）と呼ばれる屋根頂部の雨仕舞作業が行われ、いよいよ工事も終盤に差し掛かってきました。



外陣天井絵の剥落止め

【令和６年８月～９月】

茅の葺き替え作業が終わり、外観はほぼ完成となりました。続いて本堂外陣天井絵の剥落止め工事です。描かれて約４００年経過し、剥離が生じ始めている絵の修理を行いました。

雨落溝周りの補修

【令和６年９月～11月】

本堂周り床面の既存のコンクリートを全て取り除き、改めて新規にコンクリートの打設を行いました。また、雨落溝の縁石の一部に不睦が生じた範囲を取り外し、周囲と馴染む高さに据直す修理を行いました。

今回の修理工事は伝統的な工法を用いて行われ、熟練した職人の技が光ります。70年ぶりに新しくなった慈恩寺本堂をぜひご覧ください。

慈恩寺修験の道ウォーキング開催

10月23日、26日、31日に慈恩寺の修行場を巡る「慈恩寺修験の道ウォーキング」を開催しました。悠久の里慈恩寺運営委員会による運営で行われるこのイベントは、今年で10年目となり毎年多くの方に参加いただいています。中には9回目の参加という方もいました。今年は、45歳から82歳まで計45名の方からご参加いただき、天候にも恵まれ終始和やかな雰囲気でウォーキングを楽しみました。

先達といわれる先導者に続き、山王台公園や夫婦滝を経て、山業（三の宿）までの約8キロの道のりを6時間ほどかけて歩きました。道中はガイドによる説明もあり、跡地を巡りながら慈恩寺修験の歴史を学ぶとともに、当時の様子に思いを馳せました。参加者からは、「ガイドの説明がわかりやすく勉強になった」「もっと険しい道のりかと思っていたが、道が整備されていて歩きやすく、とても楽しかった」「また参加したい」といった声が寄せられました。

イベント情報

慈恩寺テラス　AUTUMN FES 2024

○日時

11月23日（土）、24日（日）　午前10時～午後３時

○内容

- ものづくり：オリジナルトートバッグやシャカシャカしおりを作ろう！
- グルメ：キッチンカーでグルメを満喫！寺そば・寺カフェで楽しい企画も♪
- マルシェコーナー：農産物の直売やものづくり体験ブースが勢ぞろい！
- チェリンからの挑戦状 特別篇：チェリンが持って逃げたキーワードとは？

楽しい企画が盛りだくさんの２日間！ぜひ、足を運んでみてはいかがでしょうか。

詳細は慈恩寺テラスホームページをご覧ください。

寒河江市ホームページ上に「慈恩寺 Times」バックナンバーを掲載中！　慈恩寺 Times　検 索